

## 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 23 年 10 月 26 日(水)19:30～20:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7名 出席委員数 6名 欠席委員数 1名  
出席委員の氏名 深田 剛／稲沢 裕子／椛山 晶典／川畑 裕徳／俵 淳子／三井 直子  
欠席委員の氏名 野村 真仁  
放送事業者側出席者名  
麓 憲吾／丸田 泰史／沖元 眞実／元井 庸介／上野 紋／渡 武志／渡 陽子／

### 4 議題

番組内容の審議(「あの日・あの頃～アメリカ軍制下・行政分離期の奄美を語る～」について)

### 5 議事の概要

- (1) 事務局からご報告
- (2) 番組内容の審議(「あの日・あの頃～アメリカ軍制下・行政分離期の奄美を語る～」について)
- (3) その他質問など
- (4) 次回の審議会について

### 6 審議内容

#### (1)事務局からご報告

野村 真仁委員の欠席の報告。新入スタッフ 2 名(窪田秀行・森田視希)の紹介  
大島支庁から感謝状受領、南日本文化賞の受賞の報告が行われた。

#### (1) 番組内容の審議(あの日・あの頃～アメリカ軍制下・行政分離期の奄美を語る～)

深田委員長より、今回の議題についての説明をあまみエフエムより行う旨、進行される。

#### —あまみエフエム 元井

放送開始：2008 年 1 月より放送日時：(本放送) 毎月第 4 日曜日 13 時

(再放送) 本放送の翌週水曜日 13：00～／ 本放送の翌週月曜日 19：00～

ナビゲーター花井恒三さん 財部めぐみさん (毎回ゲストを迎えている)

内容：戦後 8 年間のアメリカ軍政下時代の復帰運動について当初は掘り下げて行っていたが、中心人物の方の話も大体伺ってしまっており、最近は、その頃に暮らしていた一般の方の話を聞きたいということで間口を広げて伺っているという状況です。

本土から分断されてもなお、独自の文化を創りあげ、無血で日本復帰を成し遂げた先輩方のお話を聞き、残してくれたものどう受け継いでいくかというところまで考えていけたらいいなという想いで制作している番組です。

#### 深田委員長

それでは順番にご意見伺ってまいりたいと思います。川畑委員からお願い致します。

#### 川畑委員

現代の僕らとはかけ離れた世界で先人たちのたくましい話を聴けるのが楽しかった。当時の話はびっくりする

ことも多かったが、現代の幸せすぎるので考えさせられることが多くありました。他のみんなはこれを聴いてどういう風に思うのだろうか考えながら聴いていました。僕は個人的に先人のお話を聞くのは好きですし、聞いた僕たちがまた誰かに語り継いでいくことが大切だなと考えました。あと時間の配分(60分)なのですが、僕は少し長いかなと感じました。その回の内容にもよるのでしょうか。番組自体に関してはとても良い内容だとおもうし再放送を増やしても良いのかなと思った。

### 椛山委員

この時代の話は、普通に暮らしをしていても絶対に聴ける話ではないので、学校で教えてくれもしない。奄美に生まれて島の間人だからとても興味のある内容だし、とても面白く感じました。特に、島の子は昔国歌・国旗を知らなかったという話が印象に残っています。こんな時代もあったんだなと凄く勉強になりました。昔の人は凄い時代をきたんだなと実感させられました。ものすごくいい番組だという感想をもちました。これからも続けて欲しい番組です。

### 稲澤委員

番組の始まりがサイレンの音だが、気分的に少し落ち込むような感じがした。私の母がここの回のゲストの丸田京子さんと同じ昭和7年生まれなので、戦争の時代の人です。だから戦争の話は聞きたくないといっています。ウーというサイレンの音が流れるとああもう嫌だという気分になってしまうみたいです。私がそれをいつも聞いているからかも知れませんが、この番組のサイレンを聞いたときにわー暗いなあと感じてしまいました。

あと、ナビゲーターの2人がアナウンサーではないので、ボリュームを上げて聴かないととても聴きづらいです。私は商店をやっているお店でも流しています。だからこの番組も聴いているはずなのに、ぜんぜん聴き覚えが無かったんですね。そういう番組があるのも知っていたし、流れているというのも知っていたんですが内容を今まで一度も聴いたことがありませんでした。今回番組審議用にCDを頂いて初めてきちんと聴き、こんなに良い番組だったんだと気づいたのですが、やはり入り口が暗い気がします。

あとこれは放送全体に思うことですが、音の小さい番組と大きい番組があり、こちら側でボリュームを上げたり下げたりしないといけません。店の奥にボリューム調整があるので結構大変なんです。

特にこの番組はトーンも低いし分かりにくいですね。ただ内容は凄く良い番組ですね。花井さんの声が聴きづらくゲストの名前が聴き取れなかった。もう少し聴きやすい環境を整えてくれたら、とても良い番組だからみんなに分かってもらえるのと思ってしまう。

ゲストの丸田京子さんのお話はとても面白かったです。丸田京子さんの祖先が丸田南里(明治時代、黒糖販売の自由化に奔走)さんということなどが放送されると、今度は丸田南里さんとはどういう人なのだろうという興味がわく、内容はすばらしい番組ですね。

### 田原委員

私もサイレンにはドキドキしました。去年の豪雨災害の際に何度もサイレンは聞きました。職業柄というのもあるかも知れませんが、年代によって受け止め方は異なると思うが、サイレンがフラッシュバックのように何かを思い出させてしまうという効果もあるのかもしれないという印象はありました。この番組はCDで初めて聴いたので、聴きやすく構成もしっかりしているんだなと思いました。元井さんの説明で、復帰運動の中心人物から、一般の方に移ってきているというのはこの一回ではちょっと分からなかった。私のほうでは、無血の復帰運動がメインの番組だと思っていたもので。一般の方の話から少し伺えたのは、断食をしたというところぐらいですかね。他の回と相対的に聴くと見えてくるのでしょうか。私はこの回しか聴いたことが無かったので、他の回も聴いてみたいなど

思いました。最後にナビゲーターの 2 人がおさらいをしてくれたのは良かったが、花井さんが最後に言った言葉「戦争の勝ち負けを伝えていきたい。戦争に勝っていたらどうなっていたか」という部分が引っかかりました。

ラジオとしてそれを伝えてどうなるのか? と思った。私は大前提として戦争はあってはならないものだと思っているので。とても引っかかる言葉でした。

### 三井委員

私は、この番組の存在は知っていたが、きちんと 60 分向き合って聴いたのは初めてでした。絶対に必要な番組であると確信しました。祖父母が亡くなっている世代は身内から聞くことはできないし、話したがらない人も多い。番組構成もよく勉強になりました。

ナビゲーターが二人なのはなにか意図があつてのことなのでしょう。もしかすと一人のほうが聴きやすかったりするのではないかと思いました。あと財部さんのコーナーでムンバなしというのがありますね。凄く良い内容だと思うのですが BGM がなぜ「犬のおまわりさん」なんだろうと思いました。内容と曲が合っていないように感じました。また、先ほどの俵さんの話にもありましたが、花井さんの言葉「戦争に勝っていたらどうなっていたらどうか」というところ、母とも話したのですがそれは戦争を肯定する言葉ではないのかとすこし怒りを感じた部分でもありました。どの質問が正しいかとかは正解も無いと思いますし、個人の受け止め方だとは思いますが気になりました。

### 深田委員長

それでは質問のほうにお答えして頂いてもいいですか?

#### —あまみエフエム 元井

はい。BGM とサイレンについては、番組開始当初とほとんど変えていないんですね。途中でサイレンを抜こうという話もできました。最初に始めたときの感じを壊すのもどうかとおもって、なんとなくやっている感じです。慣れてしまっていたので改めて言われると、そうだなと思います。パーソナリティ二人体制というのも最初からなんですね。最初は花井さんと楠田書店のお嬢さんで楠田六月さんでした。(＊楠田六月さんの祖父は楠田豊春さんで復帰運動で有名な方です。)結婚のため、島外に行かれるということで財部めぐみさんに交代しました。財部さんの祖母も財部ツキエさんというまた有名な方です。祖父母の世代の話を孫が聞くということ、復帰の世代に近いがそれを研究している立場のかたという組み合わせで行っています。若い世代が質問したいことを番組の中で財部さんが質問してくれるのではないかとということで二人体制となっています。

「犬のおまわりさん」に関しては、楠田六月さんのときに六月さんのコーナーがあつたんですが、その BGM が「オクラホマミキサー」だったんです。財部さんの場合もそんなトーンの可愛らしい曲ということで「犬のおまわりさん」になりました。こういう部分は見直せるところなので、凄く参考になりました。ありがとうございました。

### 深田委員長

うかがってみると、制作される側の苦勞がわかりますね。それでは最後に私のほうから意見を申し上げます。

内容については、申し分ないと思いました。あまみエフエム全体のバランスから申し上げますと、前々回の泉清次さんの番組について言えることなのですがご年配の方がやってらっしゃる番組のクオリティがとても高いなと思います。安定感があって、今後の高齢番組のとても良い見本になると思います。

またあまみエフエムの番組を聴いていると、幅があつていろんな番組。コーナーがある。若い人だけに向けているだけではないメニューがあつて良いなあとと思います。花井さんと財部さんの年齢差もとても良い例だと思うし、今番組の内容が少しずつ変わっていつているという話も出たが、ずっと続けていってスピノフ的な企画も出て

きたら面白いのかなと思う。今回の番組に限ったことではなくて、他の番組についても言えることですね。

この番組は戦争をテーマにしていることもあって、非常に難しいし、気苦労も多いことと思いますが、無くなってはならない番組だと思います。個人的にはサイレンの音は僕にとってはお昼の合図で昼飯を連想してしまいます。(笑) 聴く人によって違うんだなと僕自身感じました。

一通り意見がでましたのでそのほかに質問のある方がいらっしゃればご質問をどうぞ。

## (2) その他質問など

### 梶山委員

音楽がずっと流れている時間帯に、邦楽と洋楽が混ざるのはなぜなのでしょう？ できれば統一したほうが聴きやすいかなと思いました。

### -事務局 麓

ジャンルとカテゴリーで曲を分けているのですが、場合によって歌手も出身地で分類もしています。そういった場合に違うジャンルのものが入ったりしている形ですね。ご指摘の通りもう少し整理が必要だと思います。

### 稲澤委員

私が先ほどあげた、ボリュームの件はどうですか？

### 梶山委員

僕は奄美通信としてエフエム宇検などにも携わっているので少し思うのですが、今放送にいろんな方が関わるように自分の感覚で番組を作っていると思うんですね。正しい音のレベルが分からなくなっていると思うんです。人の出入りが多いと自然とそうになってしまうと思うのですが一回きちんと基準を作って、誰が作っても同じボリュームでだせるという風にしたほうが良いと思います。感覚でやっているとと思うので、統一のルールを作りそれにそって番組制作すればこの問題は解消されると思います。

### -事務局 元井

初期の頃に、制作したもの(機器に取り込んだもの)がボリュームが小さい場合が多いです。また、感覚でやっているの、音を大きくしたほうが良い音のように聞こえてしまいボリュームが大きくなっている場合もあります。いずれにせよ、きちんとそろえるべく対処します。

### 深田委員長

サイマル放送も始まって、あまみエフエムを聴きたいという人も増えてきていると思うんですね。なので是非改善をお願いします。僕は職業柄、マーケティングに携わっているのですが、広告を作るときにいつも「お客様は見ないし、聞かないし忘れてしまう」と思って作るんですたとえば、あまみエフエムを聴きたくてラジオをつけたけども、聴こえないなら他の局にしよう、もうそう思ってしまうと思うんです。なので、ぜひ聴きやすい環境というのを作っていかないといけないと思います。

他にあまみエフエム側から無いでしょうか？

## 一事務局 丸田

ご存知のように 10 月 30 日が奄美市議会議員選挙の投票日になっています。初めての試みですが、全候補者 30 名の政見放送を行っています。一般の方が候補者の意見をすべて聴きに行くというのは難しいですから、ラジオを通してぜひ聴いて頂いて市政に参加して頂ければと思います。また、30 日の投開票の日も特別番組を行いますのでこちらもお聴き下さい。

## 深田委員長

この放送が、投票率にまでつながっていくといいですね。

### (3) 次回の審議会について

「奄美音紀行」について

## 深田委員長

次回の審議会については資料の通り、「奄美音紀行」という番組についての審議です。奄美で聞くことのできる音をナレーションにのせて紹介します。そして今回は局側から、特に意見を上げてほしい項目を数点事前に頂いていますので、そちらを重点的に聴いてみてください。

## 一放送局 元井より

この番組は一年半前ほど前から制作している番組です。当初は 1 週間に一つ新作を作るという企画だったのですが、なかなか制作の方法や効率が固まらず、現在は随時新作が生まれるという形になっています。放送日時も結構バラバラで、ふと気がついたら流れているなというくらいの感じで良いなという趣旨ではじめたのですがそれで良いのかという気持ちもあります。いま、制作している音の判断も自分たちの思うままにやっており、それで奄美らしさを伝えられているのかという思いもあります。サイマル放送が始まったこともあり、(島外に出た島出身者などに)意味が出てきた番組だと思いますので力を入れていきたいと思っていますところでもあり、次回の審議のお題にしました。よろしく願います。また龍郷町の奄美自然観察の森の宇都宮さんが、この番組が始まろうとしている時間じよな番組を作りたいとの声頂いて彼のところに話をしに行き、その後も協力などして頂いています。

次回は、12 月 15 日 19:30 からと決まる。

## 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

## 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成 23 年 11 月 13 日(土曜日)17:30-「ゆぶいニング・アワー」番組内で放送
- ② 書面の備置き:平成 23 年 11 月 13 日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成 23 年 11 月 13 日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに掲載

## 9 その他の参考事項 なし